

## 口永良部島の噴火状況等について(平成26年8月13日 16:00現在)

### 1. 本省及び地方支分部局の体制について

|         |      |       |      |       |      |       |      |
|---------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
| 国土交通本省  | 8月3日 | 12:50 | 注意体制 |       |      |       |      |
| 九州地方整備局 | 8月3日 | 12:50 | 注意体制 | 九州運輸局 | 8月3日 | 13:00 | 注意体制 |
| 国土地理院   | 8月3日 | 12:50 | 注意体制 | 気象庁   | 8月3日 | 12:50 | 警戒体制 |

### 2. 噴火の概要

口永良部島では、8月3日12時24分に新岳で噴火が発生し、噴煙が火口縁上800m以上、上がりました。この噴火について、その後の上空からの観測で、新岳山頂火口の南西側から西側にかけてと東側で低温の火砕流の痕跡を確認しました。また、火山灰の分析によると、噴火はマグマが関与したと考えられています。

現在、火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)を発表中で、火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。また、島内の向江浜地区から新岳の南西にかけて、火口から海岸までの範囲では火砕流に警戒が必要です。

8月8日に火山噴火予知連絡会拡大幹事会が開催され、見解が発表されました(以下、見解の概要)。

口永良部島では、8月3日12時24分頃に噴火が発生し、約6分30秒間継続しました。この噴火にはマグマが関与したと考えられます。その後も火山活動が高まった状態となっており、今後も噴火が発生し、火砕流を伴う可能性があります。

### 3. 国土交通省の対応

- 九州地方整備局防災ヘリによる上空からの調査を実施(8月6日)
- 九州地方整備局防災ヘリによる上空からの調査及び地上調査を実施(8月13日)

### 4. 気象庁の対応

- 噴火警報等の火山に関する情報を適時的確に発表するとともに、地元自治体をはじめ、関係機関に対する解説及び資料の提供を、福岡管区气象台及び鹿児島地方气象台より随時実施。
- 気象庁機動調査班(福岡管区气象台または鹿児島地方气象台)を派遣し、火口や山頂周辺の状況・降灰の状況等について現地調査を実施(8/5、6、11~14)。
- 活動の評価を行うために火山噴火予知連絡会拡大幹事会を8月8日に開催し、見解を発表。

### 5. 所管施設等の状況

#### ○土砂災害

- 土砂災害発生状況(8月13日16:00現在)
  - ・現時点において被害情報なし
  
- 土砂災害警戒情報の発表状況(8月13日16:00現在)
  - ・現時点の発表なし

●避難勧告等の状況(8月13日16:00現在)

| 都道府県 | 市町村  | 地区          | 避難の状況                |           |      | 発令日時           | 解除日時 | 備考 |
|------|------|-------------|----------------------|-----------|------|----------------|------|----|
|      |      |             | 避難準備<br>避難勧告<br>避難指示 | 対象<br>世帯数 | 対象人数 |                |      |    |
| 鹿児島県 | 屋久島町 | 口永良部島<br>全域 | 避難準備                 | 77        | 135  | 8月3日<br>13時00分 |      |    |

○海事関係(8月13日16:00現在)

・4日に「フェリー太陽」で60人を避難、11日に「フェリー太陽」で43人を帰島

|  |
|--|
| 問合先：水管理・国土保全局防災課災害対策室 佐々木<br>代 表：03-5253-8111 内線35-822<br>直 通：03-5253-8461 |
|--|